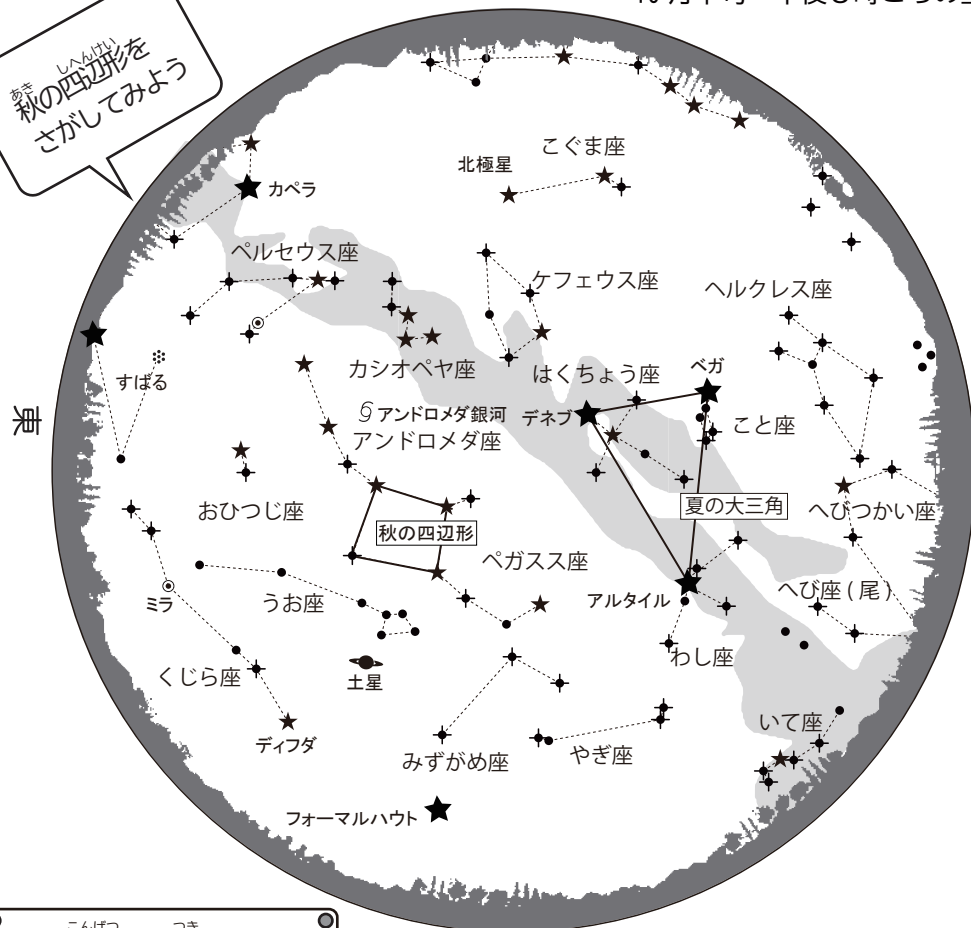


星空だより

2025年10月
No. 179
富山市科学博物館

10月中旬 午後8時ごろの星空

あき しんけい
秋の四辺形を
さがしてみよう



お月見をしよう！



昔の暦で8月15日の月は「中秋の名月」と呼ばれ、お月見を楽しむ日です。今の暦で今年は10月6日になります。この日はおだんごやススキを飾り、お月見を楽しみましょう。

中秋の名月は「芋名月」とも呼ばれ、その年に収穫された里芋を供えて、秋の収穫を感謝する風習もあります。



黄道十二星座紹介 ☆みずがめ座☆



みずがめ座は、ギリシャ神話に出てくる少年ガニメデスの姿といわれています。ワシに変身した大神ゼウスが、身の回りの世話をしてもらうために神様の国に連れてきました。なお、この時のワシの姿がわし座になったといわれています。

※黄道十二星座って？

太陽の通り道（黄道）に沿って並んだ12個の星座のこと。誕生日の12星座としてよく知られています。

星空観察会

毎週土曜日の夜に開催。

詳しくはウェブサイトをご覧ください。



～今月のお月さま～

10月 7日	満月	○
10月 14日	下弦	◐
10月 21日	新月	●
10月 30日	上弦	◑

南

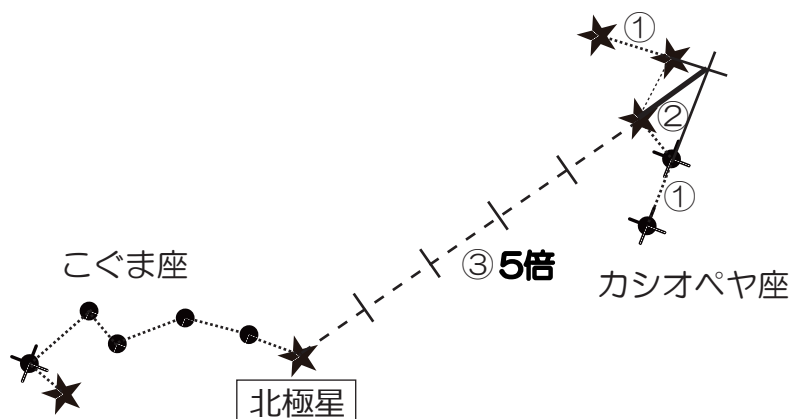
見たい方角が
下になるように持って
その方角の空を
見てね。



今月の さがしてみよう

カシオペヤ座と 北極星

10月中旬 午後8時ごろの北の空

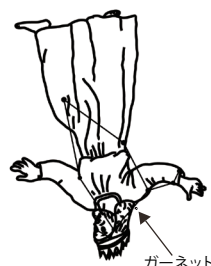


今月のオススメ星座！



カシオペヤ座

北極星を見つけるための星座としてよく知られています。Mの形の星の並びが目印です。日本では、船のいかりや山の形に似ていることから「いかり星」や「山形星」と呼ばれました。



ケフェウス座

北の空にある、細長い五角形の星の並びが特徴の星座です。濃い赤色をした「ガーネットスター」と呼ばれる星があります。ケフェウスはギリシャ神話に出てくる古代エチオピアの国王で、妻のカシオペヤ王妃と娘のアンドロメダ姫も星座になっています。

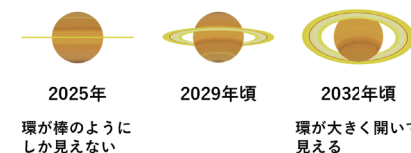
天文コラム 土星が見ごろ

環のある惑星として人気の土星が見頃を迎えています。望遠鏡で土星を見ると、その特徴的な土星の環が、昨年から今年にかけてはわかりにくくなっています。

土星の環はとても薄く板のような形をしています。今年は土星の環をほぼ真横から見ているため、環が細く見づらくなっています。

土星の環は、来年以降少しずつ見えやすくなり、2032年頃に環が最も大きく開いて見えるようになります。毎年土星を観察して環の見え方の変化を確かめてみましょう。

地球から見た土星



北東の空に見えるカシオペヤ座から北極星を探してみましょう。
①アルファベットの「M」の形をしたカシオペヤ座の両端の2つの星をそれぞれつないで伸ばします。②伸ばして交わった所と、カシオペヤ座の真ん中の星をつなぎます。③つないだ長さを5倍伸ばしたところにある星が北極星です。

北極星の明るさは2等星でそれほど明るくありません。北極星がある方向が北になります。